

聞いてきました まちの 声

表紙によせて VOL. 4

八女石灯ろう協同組合 理事長 橋山 安由氏

はしやま やすよし



八女市長野にて、橋山石灯籠製作所を営む橋山理事長に八女石灯ろう協同組合の活動状況、特徴、事業継承などについて伺いました。八女石灯ろうについて熱く語っていただきましたが、特に後継者問題や販売減少など伝統工芸品に対する先行きの不安がある中で、次世代につないでいこうという意欲が話の端々にうかがえました。

組合の設立から現在までの状況をお聞かせください。

正確には分かりませんが江戸時代に設立されたようです。ピーク時の昭和45年には、組合員80軒程ありましたが、現在は15軒まで減少しています。

組合としてどのような活動をされていますか。

以前はハワイまで石材を輸送し、実演を行ったり、デパート等に出店していました。また、品評会等のイベントも開催していましたが、現在は、特に決まった活動はありません。

八女石灯ろうの特徴をお聞かせください。

9万年前に阿蘇山が大爆発し火山灰が堆積してできた凝灰岩を材料として、石灯ろう以外でも墓石、石碑、仏像などを制作しています。凝灰岩は、柔らかく削りやすい性質があり、さまざまな種類の製品を造ることができます。



木型

石灯ろうにはいろいろな型がありますが八女石灯ろうの代表的な型は、年月が経つにつれて、和の味わいでる木型が特徴です。

業界の販路や販売方法について伺います。

従来は、全国に出張販売していましたが、現在は、主に植木業者に販売しています。最近では、時代に応じてインターネットを活用した販売も増えています。

伝統工芸として次世代に継承していくためのお考えをお聞かせください。

一番難しい問題です。若い後継者を育成することが、今後の重要な課題と捉えています。

市議会に期待することは何でしょうか。

経済が上向くような政策を、市議会に対しても大いに期待しています。

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

2月24日(水)予定

立花庁舎議場 午前10時から

八女市議会事務局 23-4922



スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック！

編集後記

「コロナ禍の中、日本全国の経済がマヒしています。▼日々対策会議が取り行われ、国・県・市は、あらゆる手段にて国民の生活を守るうと必死です。▼このような事態においては、我々一人一人が危機意識をしっかりと持って、この難局に立ち向かわなければなりません。一日も早い終息を願います。」

川口 堅志

発行責任者 議長 角田 恵一
議会だより編集委員会
委員長 高橋 信広
副委員長 大坪久美子
委員 松崎 辰義
委員 井上 賢治
委員 牛島 孝之
委員 堤 康幸
委員 田中 栄一
委員 川口 正信
委員 高山 正信

